

千早学区もちつき大会



【千早学区】

■世帯数：2,683 世帯

■人 口：4,025 人

■面 積：0.398 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・学区全住民に参加を呼びかけ、「もちつき大会」を通じて住民の交流を深めるため 10 年以上継続している。会場は千早公園。参加者数は約 300 人。
- ・もちつきのほかに、豚汁も提供する。災害発生時を想定してテントの設営や炊き出しの訓練も兼ねて行っている。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、消防団による車での広報

【アピールポイント】

地域団体との協力体制が構築されている。

2 きっかけ、背景

地域住民の交流やふれあいを促進するとともに、災害の発生に備えて住民の防災意識の啓発を行うため、災害時のテントの設営、炊き出しの訓練を兼ねてもちつき大会を行うこととなった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性会、老人クラブ、スポーツ推進委員、体育協力会
計約 60 人

(2) 運営協力

小学校を通じて、小学生に参加を呼びかけている。

4 実施のスケジュール

H23 年
11 月 学区連絡協議会での計画

12 月 学区連絡協議会での準備会

H24 年
1 月 チラシ配布、ポスター掲示

2 月 餅つき大会実施



5 成果と課題

(1) 成果・効果

住民意識の高まり、交流の深まり、担い手の増加。地域住民との交流が深まり、顔の見える関係が防災にも役立っている。

(2) 苦労した点

活動の担い手の不足、他団体との協力。協力者の参加人数が減少、高齢化している。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続、担い手の世代交代、他団体との協力が課題。地域住民、協力者のより多くの参加を求めている。

(4) メッセージ・アドバイス

より多くの地域住民との協調、協力が大切です。